

## 第39回富川ポクサゴル芸術祭、華やかな祭りが閉幕

「サンキュー春」のスローガンの下で多彩なイベントを開催...芸術祭としての地位を高める



▲「第39回ポクサゴル芸術祭」が5月3日から5日までの3日間、富川市役所の芝生広場と中央公園など富川市一帯で成功裏に開催された。

「第39回ポクサゴル芸術祭」が5月3日から5日までの3日間、富川市役所の芝生広場と中央公園など富川市一帯で成功裏に開催された。

「サンキュー春」のスローガンの下で開催されたポクサゴル芸術祭は、国楽・舞踊・文人・美術・写真・演劇・音楽など多様なジャンルの公演や展示、付帯行事が催され、市民から多くの関心を集めた。

市役所芝生広場で開催された開幕式では、ドリームオカリナオーケストラ、イ・イングオンサクソフォンオーケストラの式前行事から始まり、イエスミッション（ポクサゴル芸術祭キッズ）の声楽公演、ソプラノのピョン・ソナ、メゾソプラノのキム・ムンス、コントラバスのドミトリー、ポクサゴル芸術祭有望株ホワイトエンジェルのソロおよびデュエット独奏曲、合唱などの合同公演、オズカンパニー「春のジャズへの旅」などで市民を楽しませた。

また、今回の開幕式では、富川市国内交流都市の珍島郡の珍島郡立民俗芸術団「珍島風流」と茂朱郡の学生テコンドー師範団「テコンドー師範公演」が行われ、開幕式の舞台を盛り上げた。



▲テコンドー師範公演

翌日の4日、ポクサゴル芸術祭は最も活気を帯びた。市役所芝生広場では詩朗読会、ポクサゴル国楽祭などの公演が行われ、富川市民会館大公演場ではポクサゴル合唱祭が開かれた。

特にポクサゴル国楽祭は、司会者のイ・ヨンシクを招待してトロット歌手のウォン・ヒョクと一緒に舞台を飾り、多くの観客から大きな歓声が響いた。

また、市役所前の車のない街では、ポクサゴル芸術祭協力団体の多様な体験ブース、キッチンカーなど、様々な楽しみと食べ物が用意された。特に遠美警察署交通キャンペーン広報ブースのサイカー搭乗体験と富川天文科学館の天文観測が多くの親子から人気を集めた。



▲富川天文科学館の天文観測が多くの親子から人気を集めた。

中央公園ではアートマーケット、芸術体験プログラムなどを通じて家族と一緒に楽しめるイベントが設けられた。各所で芸術作品の展示も続いた。中央公園では富川文人協会の詩画展展示が、富川市役所駅ギャラリーでは富川美術祭が開かれた。

芸術祭の最終日である5日は雨のために当初計画していた市役所芝生広場の舞台ではなく市役所オウルマダンでポクサゴル家族ミュージカルとポクサゴル舞踊祭が開催された。富川市民会館小公演場では富川管弦楽祭が開かれた。



▲チョ・ヨンイク富川市長が第39回ポクサゴル芸術祭で挨拶している

チョ・ヨンイク富川市長は「胸躍る開幕からポクサゴル芸術祭を多くの市民と一緒に楽しんでいただき、ありがたい」として、「これからも芸術と市民が一つになる祭りとして市民の文化享受の機会を継続して用意する。わずか3日間の短い日程だったが、長い間皆さんの胸に大切な思い出として残ってほしい。来年も芸術祭の地位を高める多彩なイベントを開催していく」と述べた。